

サケ

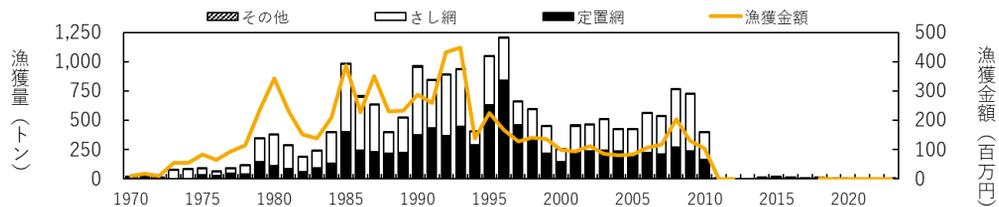
1 生態

- ・主に茨城県以北の太平洋側、石川県以北の日本海側に分布します。河川で生まれた稚魚は3～5月に降海し、北太平洋海域（オホーツク海、ベーリング海、アラスカ湾）まで索餌回遊します。成熟すると日本沿岸まで来遊します。
- ・2歳で約50cm、4～6歳で最大80cmに成長します。
- ・成熟は2～6歳で、主群は4歳です。9～12月にかけて沿岸に来遊し、生まれた河川に遡上して産卵します。
- ・幼魚期は主に動物プランクトン、成魚はオキアミ、魚類やイカ類を食べます。



2 漁業に関する情報

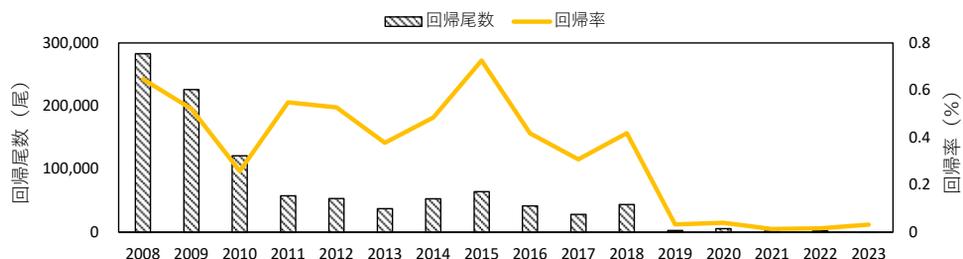
- ・刺し網や定置網で漁獲されています。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2014年（平成26年）9月から再開されています。
- ・2023年（令和5年）の海面での漁獲量はわずか6kgでした。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 *2014～2017年まで相対取引のため金額データ無

3 資源の状態

- ・資源水準：中位 資源の動向：横ばい
- ・国による「令和5年度国際漁業資源の現況」によればサケ(シロザケ)日本系の資源水準は中位、動向は横ばいです。
- ・本県においては2019年（令和元年）以降、海面漁獲量、河川採捕数ともに極端に減少していることから、本県におけるサケの資源水準は極めて低位であると考えられます。また、回帰率も2019年（令和元年）以降急激に低下し、2023年（令和5年）の回帰率はわずか0.032%でした。



参考：福島県におけるサケの回帰尾数、回帰率の推移

4 資源管理の取組み

- ・産卵親魚保護のため、福島県漁業調整規則により河口前面海域での漁獲が制限(時期、場所)されています。